

◎【ロジックツリー】…(現状～住民意向調査～個別課題～主要な課題～都市づくりの基本目標)

◇現状

1 人口	☐ 人口の減少 ・人口 (H12)95,396人 → (H27)85,953人【国調】 ・1世帯当たり人員 (H12)2.88 → (H27)2.54【国調】
	☐ 少子高齢化の進展 ・年少人口比率(H12)14.1% → (H27)12.3%【国調】 ・老年人口比率(H12)21.0% → (H27)28.4%【国調】 ☐ 人口集中地区の人口密度の低下 ・人口密度(H12)39.3人/ha → (H27)35.2人/ha【国調】 ・地区面積(H12)1,269ha → (H27)1,301ha【国調】

2 産業	☐ 農業従事者率の減少、工業従事者の高割合 ・第1次産業従事者(H12)4.9% → (H27)3.9%【国調】 ・第2次産業従事者(H27)米沢35.4%＞県29.1%【国調】
	☐ 就業者数と就業率の減少 ・就業人口(H12)48,463人 → (H27)40,163人【国調】 ・就業率(H12)60% → (H27)54%【国調】 ☐ 県内有数の観光地

3 土地利用	☐ 中心市街地商店街で目立つ空き店舗【基礎調】 ☐ 用途地域縁辺部に立地する大規模小売店舗【基礎調】 ☐ 用途地域縁辺部や幹線道路沿道に多く分布する農地転用【基礎調】 ☐ 空家等の増加 (H24)899件 → (H29)1,186件
	☐ 居住環境の整備 ☐ 中心市街地の活性化 ☐ 空き家、空き店舗、空き地の対策 ☐ 優良な農地の維持・保全

4 都市施設	☐ 都市計画道路の整備率の上昇等 ・(H12)23.5% → (H30)40.6%【県都計】 ・長期未着手路線(20年以上経過。部分未着手含む) 20路線 ☐ 都市計画区域内人口1人当たり公園敷地面積の増加 ・(H12)12.4㎡ → (H30)14.7㎡【県都計】 ☐ 下水道整備の進行 ・汚水処理(H12)52.6% → (H30)77.2%【県都計】 ・処理人口普及率(H12)52.6% → (H30)64.2% ☐ 公共施設の老朽化 ☐ 東北中央自動車道(福島～米沢間)の開通
	☐ 幹線道路網の整備・利活用 ☐ 長期未着手路線の見直し ☐ 都市施設の維持 ☐ 公共施設の維持・再編

5 都市機能	☐ 置賜地域の拠点としての公共施設の立地 (☐ 医療・商業・福祉等の生活サービスの状況については、今後分析)
	☐ 置賜広域圏の中心都市としての役割の発揮 ☐ 人口減少や高齢化の進展を見据えた生活サービス施設の維持と充実

6 災害特性	☐ ハザード(浸水想定区域、土砂災害警戒区域等)の存在 ☐ 豪雪
	☐ 災害に対応した安全・安心な生活環境の形成 ☐ 雪に強い市街地の形成

7 公共交通	☐ 市街地は循環、郊外には放射状のバス路線網【基礎調】 ☐ 交通空白地の存在
	☐ 快適な移動の確保 ☐ 雪にも強い移動環境の形成

8 歳入歳出	☐ 人口減少・少子高齢化による市税の減少 ☐ 社会保障関係経費の増大
	☐ 財政悪化への懸念 ☐ 効率的な行財政運営

◇住民意向調査(アンケート調査)の結果

1 市全体の現状の満足度 ○良い点 ●足りない点	☒ 自然景観の美しさ ☒ 自然の豊かさ ☒ 商店街の魅力や賑わい ☒ 公共交通の便利さ
	☐ 自然景観の保全 ☐ 商店街の活性化 ☐ 公共交通機関の充実

2 住まい周辺の生活環境評価 ○良い点 ●足りない点	☒ 雨水・生活排水の処理 ☒ 日常の買い物の便利さ ☒ 生活道路の除排雪の状況 ☒ 生活道路や歩道の整備状況
	☐ 雪に配慮した道路整備 ☐ 市街地内の道路整備

3 住民が望む市の将来像 上位5つを抽出	・医療や福祉を重視したまち(57%) ・交通の利便性が良いまち(42%) ・安全なまち(34%) ・子育てがしやすいまち(28%) ・産業が盛んなまち(27%)
	☐ 医療・福祉施設・子育て施設の充実 ☐ 交通利便性の向上 ☐ 災害に強い都市基盤の整備 ☐ 雇用の拡大

4 コンパクトなまちづくりの必要性	・必要+どちらかと言えば必要(71%)
	☐ コンパクトなまちづくりの推進

◇個別課題

☐ 人口減少の緩和 ☐ 若い世代の流出の抑制 ☐ 市街地における人口密度の維持	

☐ 農業従事者の確保 ☐ 雇用の拡大と安定 ☐ 産業の維持・集積 ☐ 自然・歴史観光資源の活用	

☐ 居住環境の整備 ☐ 中心市街地の活性化 ☐ 空き家、空き店舗、空き地の対策 ☐ 優良な農地の維持・保全	

☐ 幹線道路網の整備・利活用 ☐ 長期未着手路線の見直し ☐ 都市施設の維持 ☐ 公共施設の維持・再編	

☐ 置賜広域圏の中心都市としての役割の発揮 ☐ 人口減少や高齢化の進展を見据えた生活サービス施設の維持と充実	

☐ 災害に対応した安全・安心な生活環境の形成 ☐ 雪に強い市街地の形成	

☐ 快適な移動の確保 ☐ 雪にも強い移動環境の形成	

☐ 財政悪化への懸念 ☐ 効率的な行財政運営	

◇主要な課題

1.	定住人口減少への対応
----	------------

2.	暮らしやすいコンパクトな市街地の形成
----	--------------------

3.	安全・安心な生活環境の形成
----	---------------

4.	暮らしを支える交通環境の充実
----	----------------

5.	豊かな自然や優良農地の保全
----	---------------

◇都市づくりの基本目標

1.	コンパクトで魅力あふれる快適な都市づくり
----	----------------------

2.	暮らしを支える交通環境と安全・安心が確保された都市づくり
----	------------------------------

3.	周辺地域と市街地が調和する都市づくり
----	--------------------

資料2

1.現状と課題
施策整理・現状分析
住民意向調査
主要な課題

2.全体構想
理念と基本目標
基本フレーム
計画体系図

3.全体整備構想
将来フレーム
分野別整備方針
全体整備構想図

4.立地適正化計画
解決すべき課題
まちづくりの方針
骨格構造
施策・誘導方針
誘導区域・誘導施設

5.地区別整備構想
地区の特性と課題
地区別整備構想

6.実現化の方策
土地利用
都市施設整備
地域環境整備

7.評価指標

【計画の構成】
※白抜部分が当該資料

※【 】:データの出典等 国調:国勢調査 基礎調:都市計画基礎調査 県都計:山形県の都市計画